

跡見学園女子大学 学報



第47回学部卒業式・第9回大学院修了式は3月18日(水)に文京シビックホール(大ホール)にて執り行われ、学部卒業生914名、大学院修了生14名が、自信に満ち溢れた笑顔で学び舎を巣立ちました。

本学は今年、学園創立140周年・大学創立50周年を迎え、新たな飛躍の年となります。

4月3日(金)には満開の桜に囲まれた新座キャンパス体育館にて、第51回入学式が執り行われました。学部新1年生991名、編入生10名、大学院修士課程1年生16名、総計1,017名を迎え入れました。咲き誇る満開の桜にも引けを取らない、夢と希望に満ち溢れた晴れやかな笑顔の新生生の姿が印象的でした。

昨年10月に設置認可された、観光コミュニティ学部(観光デザイン学科・コミュニティデザイン学科)の第1期新生を迎え、また、国際交流活動の拡充、地域連携の推進等、「実践力を備えた教養人・品性ある社会人・自律し自立した女性」教育を目指した学内外での活動を紹介します。

記事内容

- 学長挨拶 ○学部長挨拶 ○跡見学園女子大学50周年記念事業
- 跡見学園女子大学 大学院・学部学科構成 (2)(3)
- 地域連携始動!! (4)
- 国際交流活動の紹介 (5)
- 学生会情報 ○CLUB NOW ○平成27年4月、新学生寮『メゾン音羽』オープン!
- 平成27年度 マネジメント学部「ATOMIアカデミア」終了報告 (6)
- 平成27年度新任教職員 (7)(8)
- ゼミ紹介 ○桜まつり 開催報告 ○退職者紹介 (9)
- 留学の記 (10)
- 平成26(2014)年度 就職活動総括と今後 (11)
- 図書館トピックス ○新ポータル稼働開始 (12)
- 平成27年度入学試験の総括 ○オープンキャンパス (13)
- 行事予定 ○本学の正規の授業を受けてみませんか? ○保護者説明会のお知らせ
- 花蹊記念資料館だより ○心理教育相談所講習会のご案内 ○編集後記 (14)

学長挨拶

新入生に告ぐ

学長 山田 徹 雄



今年、跡見学園女子大学が誕生して50年、また、本学の創始者である跡見花蹊が跡見学校を東京に開設してから、140年にあたります。

本学にとって、時代の画期となる今、跡見学園女子大学が辿った軌跡を振り返ってみましょう。

跡見学園女子大学は、東京オリンピックの余韻が残る昭和40年、女子高等教育志願者の増加に応えるべく、文学部の単科大学として誕生いたしました。この時、設置されたのは国文学科と美学美術史学科でした。女性が社会で積極的に活躍することは稀な時代です。女子大学に求められるのは、純粋な教養教育でありました。昭和42年には英文学科、昭和49年に文化学科が設置されましたが、伝統的な教養教育という当時の時代の要請に適合的な学科構成の範疇を逸脱することはありませんでした。

21世紀を迎えると社会が大学に求めるものが大きく変わってまいります。女子学生の学ぶ学問においても、社会において積極的に活躍する人材となる基盤教育が要求される時代が訪れました。平成14年に設置したマネジメント学部は、コースワークを中心とし、インターンシップを教育課程に取り入れるという、アメリカの大学教育を模範とする模倣的革新を本学は実現しました。

そして平成27年、跡見学園女子大学は、観光コミュニティ学部を設置いたしました。グローバリズムの進展は、人や資本が国境を越えて移動します。社会がボーダーレスになればなるほど、国家の意義が相対化し、逆説的に地域の持つ重要性が増すことは、EUの経験が我々に教えていることではないでしょうか。その点にこそ、新学部には置かれた観光デザイン学科、コミュニティデザイン学科の存在意義と将来性を見出すことができます。

3学部8学科体制の人文・社会分野の総合大学へと成長した本学において学修する者にとって必要な姿勢はなんでしょうか。

広領域の学問を学ぶ学生の問題意識はさまざまです。当然のことですが価値観が多様となります。

私は異質の人材が交わること、異なった意見の交換こそが、新たな革新を生み出す契機になると考えます。同質な小宇宙に閉じこもっているのは、似通った考え方のなかに甘んじ、論理の飛躍が期待できないでしょう。

他学部、他学科の学生との交流は、自己の視野を広げる第一歩であると思います。「ゼミに閉じこもらない」→「学科に閉じこもらない」→「学部で閉じこもらない」→「大学に閉じこもらない」→「日本に閉じこもらない」という意識をもって、広く豊かな教養を修得して欲しい、これが私の願いです。

学部長挨拶

新しいカリキュラム

文学部長 大学院人文科学研究科長 小仲 信孝

本学では4月から新学部を創設し、3学部体制となりましたが、これに合わせて平成27年度教育課程がスタートしました。

文学部では、社会的ニーズを踏まえ、4学科それぞれに将来を見据えたカリキュラムを策定しました。

人文学科は、世界の社会情勢や文化の現状にも眼を拓くため、新たな学びの分野として国際教養を加え、海外経験が豊富な二人の専任教員を迎えました。学びの対象を現代に特化している現代文化表現学科では、ますます多様化する現代日本の文化状況を広範な視点から学べるよう、学生の関心が高いヴィジュアル・カルチャーと現代アートを学びの分野に加えました。コミュニケーション文化学科は、日本語・英語のコミュニケーション能力の向上を教育目標の根幹に据えました。グローバル化に対応するものであることはいまでもありません。「このころの専門家」の育成をめざす臨床心理学科においては、臨床心理士などの資格取得に必要な専門的知識を学べるカリキュラムを編成しました。

新たな魅力を創る

マネジメント学部長 大学院マネジメント研究科長 大野 二郎

今年度、マネジメント学部は2学科体制になりました。観光マネジメント学科が独立して、観光コミュニティ学部が誕生したからです。マネジメント学部誕生から、14年目ですが、この間、跡見学園女子大学は常に変化してきました。時代の変化に常に前向きに対応してきた結果ともいえます。

少子化長寿社会の傾向は一層強まり、大学教育に求める社会的要請は、専門的知識に加えて、幅広い視野からの問題設定力や実践的な解決力を備えた人材の育成にシフトしています。文科省は「就業力」と称して、大学にキャリア教育の実施を要求していますし、経産省の「社会人基礎力」も、同じ流れに位置づけられます。

この時代の要請に対応できる学部が、このマネジメント学部と自負しています。ただし、このためには、設立当初に掲げた「企業・公共・文化」のマネジメント学科、最近になって掲げた「衣・食・住に環境も」の生活環境マネジメント学科のそれぞれの特徴・強みを総点検し、新たな魅力創りが不可欠です。これからもご支援をお願いいたします。

跡見学園女子大学50周年記念事業

跡見学園女子大学は、昭和40(1965)年に開設され、以来50年の歴史を閲しました。開設時は文学部(2学科で構成)単一の大学としての発足でしたが、50年後の今年、平成27(2015)年には、文学部、マネジメント学部に加えて観光コミュニティ学部が増設され、3学部8学科体制となりました。

本学ではこれを記念して、平成27年度において、下記の通り50周年記念事業を展開いたします。

1) 跡見学園女子大学50周年記念式典及び祝賀会

本年10月24日(土)、文京キャンパスにおいて、50周年記念式典及び祝賀会を行います。

2) 跡見学園女子大学50年史の刊行

大学の50年史を現在鋭意編集中です。本年秋の刊行を予定しています。

3) 国登録有形文化財「旧伊勢屋質店」の取得

樋口一葉ゆかりの「旧伊勢屋質店」を取得し、明治大正期の貴重な文化財の保存をはかると共に、教育施設としての活用、文京区との地域連携事業などを図ります。

教育施設としては、3学部いずれにおいても、それぞれの教育目的に照らした有効活用を検討しています。

この施設の名称を「菊坂跡見塾(旧伊勢屋質店)」とし、すでに授業等で活用が始まっています。

4) 森鷗外の『舞姫』自筆原稿の取得

森鷗外の小説で、文学的歴史的価値の高い『舞姫』の自筆原稿を取得し、大学・中学高等学校における教育的活用はもとより、文京区立森鷗外記念館と共同しつつ、区民への公開など文京区との地域連携を深めていく予定です。

『舞姫』執筆時の鷗外夫人赤松登志子は跡見学校出身者で、跡見花蹊の直弟子でもあり、跡見学園にとって本原稿の取得はゆかり深いものです。



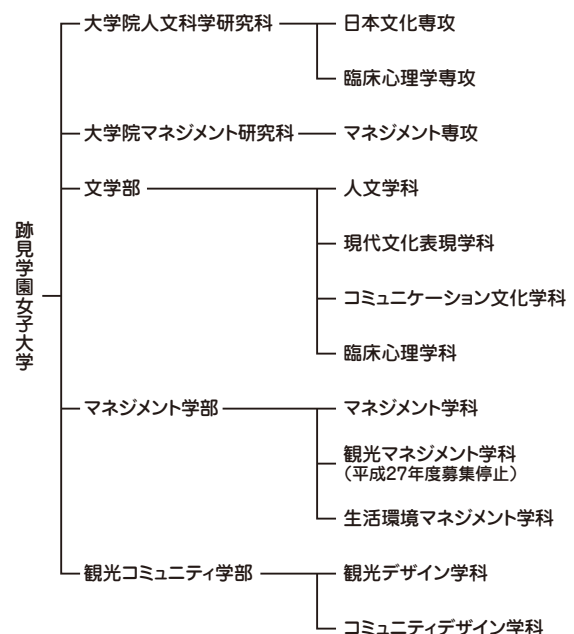
学部長挨拶

「汽笛一声新座を」出発進行

観光コミュニティ学部長 小川 功

大学50年、学園140年という意義深い時期に本学が購入した鷗外の処女作原稿と旧伊勢屋質店は両学部恰好の教材たるにとどまらず観光コミュニティ学部発足をも象徴する記念物となろう。新学部は新事業の創造をデザインと考え、観光とコミュニティの両面から地域を活性化させるデザイン能力をもった女性の育成をめざす。住民の樋口一葉も通った質店は地域に根差したコミュニティビジネスであり、鷗外の舞姫も外国人女性との間に展開された当時の国際交流という側面を有する。我々新学部は都市・地方を問わず地域コミュニティの活性化や観光立国日本への熱い思いを抱いて、跡見の校歌を作詞した大和田建樹の鉄道唱歌風にいえば、「汽笛一声新座を」出発進行し、とりあえず2年後に文京区キャンパスへの全員無事到着を目指します。

跡見学園女子大学 大学院・学部学科構成



地域連携始動！！

本学と文京区は平成23年5月に「相互協力に関する包括協定」を締結しました。

その協定締結に基づき、これまで文京区との様々な連携事業に積極的に取り組んできました。

平成25年4月には、区民に開かれた教育複合施設となることを目指し「跡見ギャラリー」を開設。地域連携に向けての更なるステップとともに情報発信基地としても活用してきました。本年度も、文京区「文の京介護予防体操^{*1}」の実施や、防犯対策プロジェクト「大塚警察防犯ATOMIピーポー隊^{*2}」の活動などで活用します。

更に、今後様々な活用が期待される地域連携の拠点としてこの4月に「菊坂跡見塾」(旧伊勢屋質店^{*3})を取得したことも、大きな弾みとなりました。

地域社会との連携を深め、より地域に開かれた大学を目指すため、本年度からは、事務局に地域連携担当の専門部署を置き、地域連携事業を本格的に始動することとなりました。

この連携事業においては、学生たちの若い力が必要不可欠となります。各種の活動に学生が参加することにより、学生が社会人としてのあり方を学ぶ教育的施策と共に、

- ・「発見する力（コミュニティの抱える課題を見つけ出す能力）」
- ・「提案する力（課題解決に導くアイデアを創出する能力）」
- ・「つなぐ力（コミュニケーション能力、ファシリテーション能力）」

を醸成するにあたり有効であり、教養教育を行いながら、行動力、実践力を持った力強さと、人を思いやる「やさしさ」を兼ね備え、社会との接点を大切に「教養実践」は本学の理念でもあります。一人でも多くの学生が、この連携事業にかかわることによって、より有意義な実りある学生生活となるよう、「実践力を備えた教養人・品性ある社会人・自律し自立した女性」教育を目指し、社会に貢献できる人材の育成に繋がるよう、大学としても努力して参ります。

今年度の主な取り組み（予定）

1. 朝顔・ほおずき市（7月）

第30回をむかえる文京朝顔・ほおずき市は平成27年7月18日（土）、19日（日）の開催予定です。この催しは、区役所、地元商店会とともに企画、運営から当日の販売までゼミの学生が主体的、継続的に取り組んできました。今年は栃木県那須塩原市との交流をきっかけに、当地の野菜を使ったメニューの販売も予定しています。地域の高齢者から教えてもらった「ゆかたの着付け講習」の成果発表でもある「ゆかた」を着用して会場をさらに盛り上げます。

2. 母子避難所訓練（9月）

本学園では東日本大震災以降、より災害対策を強化し、災害時の学生・生徒の安全安心の確保とともに、地域貢献として、妊産婦や乳幼児などサポートが必要となる方々の受け入れを実現するため、平成24年9月に文京区と「災害時における母子救護所の提供に関する協定」を締結しました（全国初の取組み）。

毎年9月に文京・新座の両キャンパス及び跡見学園中学校・高等学校と合同で防災訓練を行っており、その一環として、災害時に妊産婦・乳幼児の受け入れを想定した母子救護所の開設訓練を平成25年より実施しています。女子大学の強みを活かし、地域一体となった災害対応力の向上と、妊産婦・乳幼児への支援体制の確立を図ることを目的としています。学生自身が、地域の中で特に助けを必要とする妊産婦が災害時に必要なサポートとは何かを考え、その対応について学ぶ教育的活動としても捉えています。

3. 災害ボランティア

この5月に地域の警察署と「災害ボランティア」の協定を締結しました。かねてより、「大塚警察防犯ATOMIピーポー隊」などの連携活動を行ってきたことを継承するものです。災害ボランティアの様々な取り組みを通して、学生自身が身を守ること、リスク回避、そして地域の中で手助けを必要とする弱者へのサポート、対応について学ぶ教育的活動としても捉えています。

4. 健康まち歩き（11月）

学生が作った区内探訪コースを高齢者と一緒に歩く取り組み。コース選定にあたっては、高齢者クラブの会員、区の担当者と幾度も打ち合わせを重ね、学生の目線で選んだスポットを取り入れるなど、コース内容を丹念に作り上げます。参加者全員がコーススタート前に、専門講師の指導による「健康歩き方教室」を受講します。

* 1 跡見ギャラリー講義室を会場とした体操教室。区内の会場のうち学生参加型は、唯一この会場だけで区内初の試み。学生主導の「認知症予防レクリエーション」も行う。

* 2 文京区大塚警察との連携活動で、平成24年8月に「大塚警察防犯ATOMIピーポー隊」を結成。区内で啓蒙活動を実施。商店街でのオレオレ詐欺の寸劇の実演や自転車のひたくり防止策の紹介、自転車ひたくり防止カバー「くるみちゃん」の配布、振り込め詐欺防止のチラシ配布など、地域の方の防犯意識を高める活動に取り組む。

* 3 樋口一葉（1872～1896）が菊坂の家に住んでいたときから、生活が苦しくなるたびに通ったゆかりの質屋。伊勢屋の創立は1860年。

国際交流活動の紹介



平成26年度の春季休業中に、イギリスおよびアメリカへ合計19名の学生派遣を行いました。

英国国立スターリング大学（イギリス・スコットランド）での春期海外研修は今回で2回目の実施となります。平成27年2月11日（水・祝）～同年3月29日（日）の約7週間の集中語学コースで、13名の学生が参加しました。本研修は、研修校の学期期間中に実施されるためキャンパスで現地学生との交流が多いことが魅力の一つです。授業はレベル別の3クラス編成で、自身の語学力に合ったクラスで授業を受けることができます。また、研修中にはスターリング大学の全学イベントとして「JAPANESE WEEK」が開催され、本学学生も書道や折り紙ワークショップで講師を務めるなど、日本文化を広く発信する活動を行いました。語学力、積極性とコミュニケーション能力の向上を実感して、全員が無事に帰国しました。

平成26年度初めて、アメリカ合衆国ワシントン州ロングビュー市にある「ローワーコロンビアカレッジ」へ6名の学生派遣を行いました。この研修は、埼玉県和光市と本学の包括協定に基づき、和光市と姉妹都市である「ワシントン州ロングビュー市」での研修が実現したものです。埼玉県和光市およびワシントン州ロングビュー市姉妹都市委員会が全面協力の上、「地域コミュニティ」を体験するプログラムが行われました。

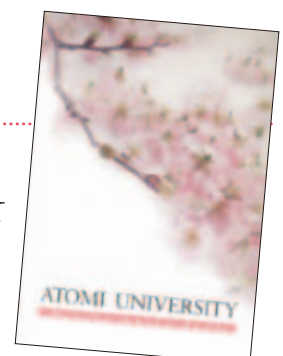
平成27年2月15日（日）～3月8日（日）の3週間語学コースで、授業以外に市議会傍聴、市長面会、企業訪問、州上院議員面会なども含まれています。また、研修中はホームステイをしながら地元の生活を体験し、日本とアメリカにおけるコミュニティの在り方やその違いなど、実体験を通して学ぶ研修となりました。ロングビュー市議会においては、今後、姉妹都市交流を通して本学とローワーコロンビアカレッジの国際交流活動の進展を支援することが決議され、それに基づき「ロングビュー市姉妹都市委員会・ローワーコロンビアカレッジ・跡見学園女子大学の三者協定」が締結されました。



ロングビュー市の支援事業

お知らせ

海外研修の拡充に伴い、海外の大学等へ本学の基本情報を広報するための媒体として、英語版ガイドブックが完成しました。大学の歴史や学部編成、キャンパスなどが紹介されています。詳細はホームページでもご覧いただけます。



学生会情報

学生会本部 会長 浅子 如奈

新緑の葉から雨粒が零れる日が多い季節となりました。新たな生活、学年にも慣れ始めた頃と思われます。私ども学生会本部は新たな仲間を迎え、皆でぐんぐん成長しております。

そんな私どもは、毎年行われている「学生総会・学長と語る会」に向けて着々と準備を進めております。学生会費がどのように使われているかを皆さんにお伝えする大切な場であると同時に、学生の声に学長先生ご本人から直接御回答いただける大変貴重な場でもあります。本年度もこの会を開くことにより、跡見学園はより良くなることでしょう。

それでは、みなさまの積極的なご参加を学生会本部一同心よりお待ちしております。



平成27年4月、新学生寮『メゾン音羽』オープン！

学生寮『メゾン音羽』は通学、修学、就職活動の利便性を重視し、東京メトロ有楽町線「護国寺」駅徒歩3分、文京キャンパス徒歩8分の場所に新設しました。94名を収容できる鉄筋コンクリート4階建て。全室個室で食堂、浴場、コミュニケーションスペース等、パブリックスペースも充実しています。プレゼンテーションの練習や茶道、ヨガ等もできる多目的室、パウダールーム、ミストサウナ、ランニングトラック等、心身の美しさを追求できる仕様です。寮長・寮母夫妻の常駐、防犯カメラ設置、近隣警察署との連携等、防犯対策も万全です。食事は寮母が栄養バランスを考慮して毎食手作りで提供しており、寮生は安心、安全で清潔かつ快適な寮生活を送ることができます。



CLUB Now

バスケットボール部

こんにちは！バスケットボール部です！現在12人の2年生と6人の1年生で、新座キャンパスの体育館にて週1回活動しています。試合形式の練習がメインですが、初心者もいるので基礎的な練習も行います。仲間同士で練習後にご飯を食べに行くときもあります。とても仲が良い部活です。興味のある方は経験の有無に関係なく是非水曜4限終了後に体育館に足を運んでください！待っています！



平成27年度 マネジメント学部『ATOMIアカデミア』終了報告

マネジメント学部長 大野 二郎

今年度の「ATOMIアカデミア」は、4月3日（金）入学式の翌日の週末4日～5日で開催しました。入学式の翌日と慌ただしい感じもしますが、以前に大不評だった、入学式の当日の午後からの「アカデミア」に比べれば、その余裕は十分でした。

この「ATOMIアカデミア」は毎年実施されている、新入生向けのプログラムです。このプログラムの狙いは、仲間作りです。大学生になりたてで、これからの大学生活に対する期待、希望、そして不安を、新しい友達と共有できるように、先輩（ボランティアスタッフとして2、3年生約30名）や教員のサポートを受けながらの1泊2日のオリエンテーションです。今年も新潟県南魚沼市にあるスキー場のホテルで開催されました。

例年同様に、先輩学生たちは大活躍で、バスの中、ホテルでの仲間と一緒に行動や食事、全体会、グループミーティング、「先輩と語ろう」など多彩な内容の濃密な時間の中で、当初の目標は概ね達成することができ、無事終了しました。ありがとうございます。

留学の記

文学部現代文化表現学科教授 佐藤 富雄

フランス、パリの社会科学高等研究院の客員研究員として、平成26年4月～平成27年3月まで一年間パリに滞在した。研究課題は「文化の市場化および制度化の研究」。フランスの社会学者P. ブルデュー(1930-2002)の文化理論を基に文化のもつ「社会的力」について考察した。

フランス滞在中に二つのテロ事件が連続して発生した。風刺画中心の週刊新聞Charlie Hebdoを発行する出版社が1月7日に襲撃され、続いて1月9日にユダヤ教徒のための食品(Kosher)スーパーへの襲撃事件が起こっている。1月11日にはテロの犠牲者を追悼する大行進がフランス各地で実施され、パリの行進には160万人以上が参加したといわれている。リパブリック広場からナンソン広場への行進は昼過ぎに始まり、夜遅くまで続いた。

この二つの襲撃事件の背景には、表現の自由をめぐる争いがあると同時に、エスニシティ(民族、宗教など)をめぐる争いが広がっている。文化と文化表現をめぐる闘争が横たわっているともいえる。Je suis Charlie(私はチャーリー)と言うことはできても、Je ne suis pas Charlie(私はチャーリーではない)と公言することは難しい。その難しさの意味を明らかにしようとする試みさえタブー視される複雑な文化状況がフランスには存在する。

今回のフランスでの滞在、様々な事件との遭遇、人々との出会いは、「ブルデューの文化理論」理解に変更を迫る貴重な体験であった。ブルデューの用語distinctionは文化による「卓越化」と訳され、文化を通して自らをより上位に位置づけようとする作用とされることが日本では多いのだが、文化による「差別」、「支配」、「搾取」、「排除」の文脈で捉えなければ、少なくともフランス社会におけるエスニシティや文化、階層をめぐる状況は理解できないことを痛感させられた。

文学部コミュニケーション文化学科准教授 マック・カレン

「江戸時代～昭和初期の夏着物」の研究のために、アメリカ合衆国にあるインディアナポリス美術館(IMA)に海外留学研究をさせて頂いた。研究は浮世絵に描かれているKimono Fashionについて、浮世絵に描かれている着物(小袖)は何の着物だったのか、どんな人物(人物の身分など)が、どのような場合に着ていたのかなど、江戸時代の着物「TPO」と「奢侈禁止令」と関連した研究である。なぜアメリカに行く必要があったのかというと、浮世絵によく描かれている庶民のお洒落着(特に夏物)は日本ではもう既に殆ど存在しておらず、アメリカの美術館および個人が収蔵する庶民のお洒落着(特に夏物)を探る必要があったためである。また同様に、浮世絵に描かれている着物を確認するために、保存状態が良い浮世絵を調査する必要があった。対象となる浮世絵の保存状態が良いのはアメリカのフリーア・サックラー美術館、ボストン美術館、ハーバード美術館で、これら三美術館で浮世絵の調査を行った。また、着物の調査はIMA以外、Cooper Hewitt美術館とメトロポリタン美術館で行った。

IMAに到着した時、7月～10月に行うIMA蔵の着物をテーマとした展覧会の計画が立てられていた。その為、相談のったり、IMA蔵の着物の調査をしたり、ラベル・解説を書いたり、ボランティアガイド達のための展示されている着物について講義をした。IMAのためのいくつかの講義以外に、インディアナポリス・トモダチ・クラブと、アジアン・アート・ソサエティーのためにKimono Fashionについての講義を行った。また、米国染色学会などの学術的な学会と講義に参加し、染色専門の学者や染色職人達と話し合いを行ったことが、研究にとっても役立った。海外留学研究の御陰で、自著の本「The Kimono Fashion of Ukiyoe: Courtesans, Geisha, and Dandies」を書き始められるに十分なほど研究が進んだ。

マネジメント学部生活環境マネジメント学科教授 宮崎 正浩

筆者は平成26年10月から半年間、国内留学をさせて頂いた。その研究目的は、企業のバリューチェーン(原料の採取から、生産、流通、消費にいたる一連の価値創造の連鎖)における環境や社会に対する責任(CSR)を果たすための取り組みが企業業績(売上高や営業利益など)にどのような影響を与えるかを実証的に明らかにすることである。この研究では企業の持続可能性への取り組みという「非財務情報」が従来の「財務情報」にどのように関連するかを明かにする必要があり、そのためには財務情報を扱う「会計学」との関係が非常に重要となる。

このため、筆者は、国内留学先として日本大学商学部を選び、指導教員として、筆者と同様に環境経営学会副会長を務める村井秀樹教授をお願いした。村井教授は会計学を専門とし、最近是非財務情報である自然資本に関する研究に取り組んでおられ、筆者の関心と非常に近い。

今回の留学では、村井教授と本件研究テーマに関連した様々な討議を行う機会があった。また、村井教授の担当授業に外部講師として1回講義を担当し、学生と討議する経験もさせて頂いた。このような交流は筆者の研究にとって非常に大きな知的刺激であった。

本研究の成果は、平成27年3月20日に開催された「企業と社会フォーラム」(会長：谷本寛治早稲田大学教授)の第15回東日本部会において「持続可能なバリューチェーンと企業業績との関係」と題して発表した。このときの参加者からのコメントを参考に論文にまとめ、本学マネジメント学部紀要に投稿したところである。

今回の留学では、研究に没頭でき、他の研究者と意見交換を行う貴重な機会を得た。今回の留学をお認めいただいた山崎理事長をはじめとする本学関係者にはこの場を借りて深く感謝の意を表したい。

平成26(2014)年度就職活動総括と今後

就職部長 石渡 尚子

<平成26(2014)年度就職活動の総括>

リーマン・ショック以来、低迷が続いていた求人倍率は、この平成27(2015)年卒で反転し、1.61倍へと一気に上昇した。これに伴って企業の新卒採用数も大幅に増加した。景気感の好転による企業の採用意欲向上を反映し、本学でも平成27(2015)年卒業生は求職率・就職率ともに近年で最も高い水準となった。

卒業生に対する就職希望者の割合(求職率)は全学で86.9%。就職希望者に対する内定者の割合(就職率)は94.7%となり、前年に比べ求職率は2.9ポイント、就職率は0.8ポイント上昇した。特に求職率は文学部2.6ポイント、マネジメント学部3.4ポイントアップとなり、学生の就職活動に対する積極的な姿勢が見られた。就職率は求職率ほどの上昇は見られなかったものの、採用の形態として正規雇用比率が前年より高まり、就職の質が好転した。

平成27年3月卒業生の就職実績

学科	卒業生数	求職者数	求職率	就職者数	就職率
人文学科	215	178	82.8%	161	90.4%
現代文化表現学科	101	86	85.1%	77	89.5%
コミュニケーション文化学科	120	109	90.8%	106	97.2%
臨床心理学科	108	76	70.4%	73	96.1%
文学部	544	449	82.5%	417	92.9%
マネジメント学科	235	222	94.5%	217	97.7%
観光マネジメント学科	101	92	91.1%	88	95.7%
生活環境マネジメント学科	52	47	90.4%	45	95.7%
マネジメント学部計	388	361	93.0%	350	97.0%
全学	932	810	86.9%	767	94.7%
(参考)前年度全学	955	802	84.0%	753	93.9%

①「就職率」…就職希望者に占める就職者の割合。

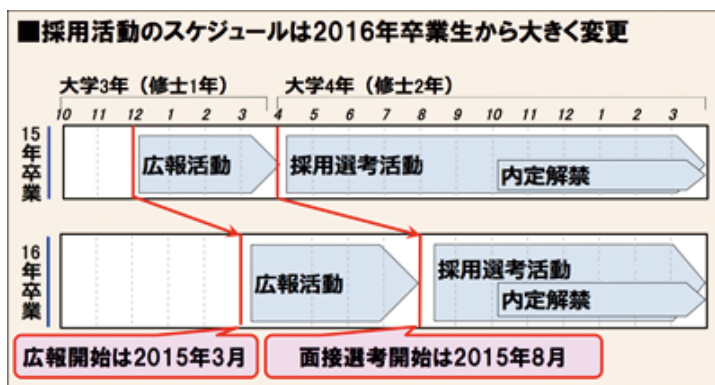
②「就職者」…正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者。

③「就職希望者(求職者)」…卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者。

④調査時点(平成27年5月1日現在)

<今年度就職活動の見通し>

平成28(2016)年卒業生から就職の採用スケジュールが大きく変更となった(下図)。



採用広報開始の時期は、前年までの「3年生の12月」から「3年生の3月」へと3カ月後ろ倒しとなり、選考開始は「4年生の4月」から「4年生の8月」に変わる。就職希望者はすでに3月から企業に(プレ)エントリーし、会社説明会に参加しながら就職先の検討を行っている。

リクルートワークス研究所の『ワークス採用見通し調査(新卒:2016年卒 中途:2015年度)』によれば、平成28(2016)年卒採用数が「増える」と回答した企業と「減る」と回答した企業の差を経年比較した結果、平成24(2012)年

卒以降プラスの値を示しており、ここ5年では今年度が最も高い数値となっていることから、平成28(2016)年卒に対する企業の採用意欲の高さが伺える。

実際、平成28(2016)年卒の場合は採用広報開始の3月に説明会・セミナーを開催した企業が多く、これ以降、(プレ)エントリー、説明会参加、ES提出などが前年度より早く進んでいる。

調査結果では、面接開始時期は経団連の定めた指針に従い8月を順守するという企業も多いが、現実的には6割以上の企業が5~7月に筆記試験や面接などの選考を始め、8月には内々定を出すか答えている。しかし、この結果をうのみにして夏休みまでに内定を取らなければと焦ることはない。前年度の企業の採用動向を単純に今年度のスケジュールに適用すると、年内に約半数の学生が内定を得ることになる。今年度はスケジュール変更の初年度となるため予測は難しいが、少なくとも今年の採用活動は前年より長引くとみている企業が多く、内定出しは卒業時まで続くことになるであろう。

就職の活動期間が長くなると、心身ともに疲労し、途中で辞めたくなくなることもあるかもしれない。しかし、最後まであきらめずに就職活動を続けた先輩からは「時間はかかったが満足のいく就職活動ができた」との声も多い。

慣れない就職活動では、年齢や立場の違う人にアドバイスをもらうことが必要となる。その時に頼りになる相談相手は、これまでつらい就職活動を乗り切ってきた先輩である。社会で活躍する先輩に会うことで、自分が働いた姿をイメージしやすくなり、やりたいことも明確になる。納得できる就職活動にするためにも、OG訪問に限らず、3年生の早い時期から自己分析や業界研究・企業研究、インターンシップなど自分から能動的に活動をし、社会との接点をもつことで、就職活動を自らの成長の機会にしてほしい。

図書館トピックス

「茗荷谷図書館の書庫入庫利用について」

～平成27年4月より茗荷谷図書館の
閉架式書架の利用が可能となりました。～

文京キャンパス茗荷谷図書館には約12万冊の資料を所蔵しています。昨年度まで書庫部分が閉架式書架のため、学生が利用するのに不便との声がありましたので、平成27年4月より書庫利用を可能としました。

書庫利用に伴い、茗荷谷図書館では利用方法、注意事項について、定期的に入庫ガイダンスを行なっています。ガイダンスを受講した学生には図書館が入庫証を発行、以後、書庫を利用できます。

ガイダンスでは、以下について現場見学を含めて説明を行っています。

- ①避難経路の案内、避難誘導方法
- ②地震、火災等の災害時の注意
- ③書庫フロアの案内

ガイダンス受講対象者は本学学部生、本学大学院生です。

今まで閉架式書架の資料は出納式でしたが、ガイダンスを受講することで、直に資料を確認し選択することが可能となりました。特に卒業論文やレポート執筆のための資料選択に便利になることと思われます。ガイダンスはゼミ単位でも受け付けていますので、資料探索など学修支援にも役立てていただけます。

4月以降、ゼミ単位の実施も含めて300名以上がガイダンスを受講し、閉架式書架の資料を利用しています。
※茗荷谷図書館にガイダンス申込書を用意しています。

「学内各所に小型ブックポストを設置」

返却用ブックポストが利用者に好評なため、平成27年1月から、新座キャンパスでは2号館、3号館に、文京キャンパスでは1号館に加えて、2号館にも小型



ブックポスト（名前「ブーボス」）をそれぞれ設置しました。

「図書館システムリプレイスについて」

平成21年度導入の図書館システムが、保守期間満了となるため、平成27年10月リプレイスを行うこととなりました。

リプレイスにあたり、図書館および関係部署をあげて検討する体制を作ることとしました。座長は植松貞夫図書館長、主査に福田博同先生、また各学部長推薦により文学部及びマネジメント学部から先生方に加わっていただき図書館システムリプレイス検討会議が発足しました。ほかに施設管理課および情報サービス課職員各1名および図書館職員3名も参加することとなりました。

第1回会合は、平成26年7月30日に開かれ、基本方針や検討日程などについて議論されました。システムの基本方針は、「学生利用者の学修を支援し、教員利用者の研究・教育を支援するため、学術情報の入手を一元的かつシンプルに行えるシステム作りを目指す。」としました。ほかに「携帯電話、タブレット端末などモバイル端末からの利用を想定したシステム」とすることや、「百人一首デジタルアーカイブ、目録情報をグローバルに情報発信し、本学の認知度向上を目指す」ことが掲げられました。

こうした方針に則し、7社に対し書面での提案を求め、提案書面の検討の結果、適合する4社から、平成26年10月15日、システムデモを受けました。

各社機能面での大きな差異もないことから、各社より見積もりをとり検討した結果、日本電気株式会社が最も安価であったことから同社の提供するE-CatsLibraryを選定する旨、検討会議座長植松貞夫図書館長が学長に報告し、了解を得ました。

また、平成27年度導入に向け、予算措置を理事長に稟申し、平成27年3月16日付けで決裁されたことから、導入に向けて作業を開始したところです。

新ポータル稼働開始

今年度からポータルシステムが新しくなりました。まだ慣れない方のために改めて注意点をお知らせします。

1. ブラウザのポップアップブロックは解除してください。
2. 毎日午前2時から5時までは、メンテナンスのためポータルの利用ができません。
3. 更新されない状態が60分以上続くと、自動的にログアウトします。
4. 掲示のメール転送先として、PC用と携帯用のアドレスを登録できます。携帯用アドレスについては、配信拒否項目を指定できます。
5. スマートフォン用サイト（学生のみ）と携帯用サイトは掲示の閲覧など、一部の機能のみ利用可能です。

使い方の詳細については、ポータルのトップ画面の「文書ライブラリ」中のポータルマニュアルを参照して下さい。

（情報サービス課）

平成27年度入学試験の総括 入試部長 村上 雅巳

平成27年度入学試験は、平成27年4月に開設した観光コミュニティ学部2学科で初めての募集を行った年であったが、結果は2学科で大きく異なるところとなった。すなわち、観光デザイン学科は既存学科を含む全学科のうち最も倍率が高く、コミュニティデザイン学科は残念ながら入学定員を大幅に割る結果となってしまった。理由として、新学部の学生募集は、設置認可後からの募集開始という制約があり、コミュニティデザイン学科は短期間での学生募集であったことで、学科の特性や魅力などを受験生に十分に伝えきれなかったことが大きく影響したと考えられる。一方、観光デザイン学科は観光分野の人気の高いことに加え、従来のマネジメント学部観光マネジメント学科のこれまでの積極的な地域貢献活動などの実績を引き継ぐ形で学生募集を行うことができたことが好調の理由と考えられる。

- このような中、本学の入試結果の特徴は次の通りである。
- ①総志願者数は2,358名で前年度を222名上回る結果となった。志願者の先行的確保の観点から一般入学試験の日程を変更し、初回入試を1月下旬に実施したことが好結果につながったと考えられる。
 - ②入試種別ごとの志願者割合は、推薦入試14.9%、AO入試8.2%、一般入試76.9%であり、依然として一般入試志願者が多く、全体の4分の3を占めている。
 - ③学部別の志願者数では、文学部1,382名、マネジメント学部611名、観光コミュニティ学部365名であり、また学科別では人文学科458名、マネジメント学科429名となっており、引き続き両学科の志願者が多い。
 - ④入学定員に対する入学者の割合をみると、倍率の高い順に観光デザイン学科1.23倍、生活環境マネジメント学科1.2倍、コミュニケーション文化学科1.16倍であり、依然として観光分野の人気の高い。また、生活環境マネジメント学科およびコミュニケーション文化学科がかなり好調であった。

平成28年度入学試験では、跡見校友会子女推薦入学試験を新設する。大学開学50周年・学園創立140周年と過去に多くの卒業生を輩出してきたことから、跡見校

平成27年度入学試験結果

●学部1年次

学 部	学 科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数
文	人文	160	458	435	424
	現代文化表現	120	294	279	261
	コミュニケーション文化	110	319	301	286
	臨床心理	120	311	299	286
	学部計	510	1,382	1,314	1,257
マネジメント	マネジメント	180	429	416	400
	生活環境マネジメント	80	182	176	163
	学部計	260	611	592	563
観光コミュニティ	観光デザイン	120	323	299	260
	コミュニティデザイン	80	42	39	39
	学部計	200	365	338	299
合 計		970	2,358	2,244	2,119

●学部3年次 編入学・学士入学

学 部	学 科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数
文	人文	若干名	2	2	1
	現代文化表現	若干名	1	1	0
	コミュニケーション文化	若干名	4	4	4
	学部計	—	7	7	5
マネジメント	マネジメント	若干名	3	3	3
	観光マネジメント	若干名	3	3	2
	生活環境マネジメント	若干名	1	1	1
	学部計	—	7	7	6
合 計		—	14	14	11

●大学院

研究科	専 攻	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数
人文科学	日本文化	8	1	1	1
	臨床心理学	12	38	37	18
	研究科計	20	39	38	19
マネジメント	マネジメント	10	2	2	2
	研究科計	10	2	2	2
合 計		30	41	40	21

友会会員の子女（孫、妹を含む）、または本学（大学院を含む）在学生の妹を対象に一定の優遇措置をとる推薦入学試験を創設するに至った。

Open Campus

オープンキャンパスでは、在学生や教員による個別相談コーナーや、在学生がガイドになってキャンパスを紹介するキャンパスツアーなど、大学の雰囲気を知ることができる様々な企画を用意しています。ぜひご参加ください。



在学生による個別相談の様子



キャンパスツアーの様子

実施予定企画：学部紹介&入試説明／専任教員による個別相談／在学生による個別相談／模擬授業／学食体験／キャンパスツアー 等

個別の大学見学も随時受け付けております。ご希望の方は入試課（TEL：048-478-3338）までお気軽にお問い合わせください。

オープンキャンパスのご案内

【オープンキャンパス日程】

期日	キャンパス	開催時間
6月21日(日)	文京C	10:00 ~ 15:00
7月19日(日)	文京C	
7月26日(日)	新座C	
8月 2日(日)	文京C	
8月16日(日)	文京C	
8月22日(土)	文京C	
10月 4日(日)	新座C	
10月31日(土)	新座C	
11月 1日(日)	新座C	
11月22日(日)	文京C	

*開始時間の30分前より受付開始
*10月31日、11月1日は紫祭（大学祭）と同時開催

◆ 行事予定 ◆

7月	18日(土)~24日(金)	授業評価期間
	20日(月)	授業実施日【海の日】
	24日(金)	春学期通常授業終了
	25日(土)~31日(金)	春学期定期試験期間
8月	1日(土)	春学期定期試験予備日・追試験日
	3日(月)~31日(月)	夏季休業日(集中講義等あり)
	2日(日)~9月1日(火)	夏期海外語学研修(英国・スターリング大学)
	10日(月)~9月7日(月)	夏期海外語学研修(カナダ・ロイヤルロード大学)
	3日(月)~9月1日(火)	夏期海外語学研修(フランス・西部カトリック大学)
	2日(日)~24日(月)	夏期海外語学研修(台湾・国立政治大学)
9月	1日(火)~19日(土) 25日(金), 26日(土), 28日(月)	補講期間(集中講義等あり)
	24日(木)	9月期卒業式(於・文京キャンパス)
	29日(火)~30日(水)	秋学期オリエンテーション期間
10月	1日(木)	秋学期通常授業開始
	1日(木)~3日(土), 5日(月)	秋学期1次履修登録申請期間
	8日(木)~9日(金)	秋学期2次履修登録申請期間
	12日(月)	授業実施日【体育の日】
	13日(火)~14日(水)	履修登録訂正期間
	31日(土), 11月1日(日)	紫祭

花蹊記念資料館だより

和歌短冊

「婦人世界の発刊を祝して ことしより生ふる
園生のひめ小松 ふかきみさをの色も見えけり」

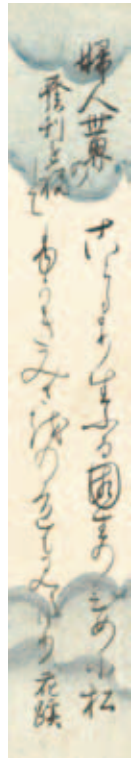
(36.6×6.1cm、花蹊記念資料館蔵)

*ひめ小松は新年の季語で、庭木や盆栽に使われる五葉松のこと。

明治39年(1905)1月、『婦人世界』の発刊をお祝いし、雲形に漉きあげた打曇紙の短冊に自詠の歌を書いたもの。連綿を多用したしなやかな筆致に、小気味よい運筆のリズムが感じられる。

『婦人世界』は、実業之日本社が発行した婦人雑誌である。与謝野晶子や新渡戸稲造らの文章のほか、花蹊も跡見女学校長の立場で寄稿している。一例を挙げてみよう。第13巻第2号では「若き婦人に勧めたき事」として、天地に貫く精神を持ち、いかなる災難に遭おうとも勇気を振り起こして進むべきことを説いている。下の句で「ふかきみさをの色も見えけり」と詠んだ花蹊は、女性の社会活動に有益な雑誌の発刊に対して、大いに期待を寄せたものと思われる。

(花蹊記念資料館館長 横田恭三)



本学の正規の授業を受けてみませんか?
(科目等履修生についてのご案内)

本学では、生涯学習、社会人教育推進の観点から「科目等履修生」の制度を設けています。

この制度は、本学の授業科目の一部を本学の学生以外の方が履修して、所定の成績を修めた場合に正規の単位が与えられるもので、本学への出願資格を満たしている方であれば、選考の上、本学が定める授業科目の中から希望する科目を選んで授業を受けることができます。

費用は、科目等履修登録料が7,500円/1学期、及び科目等履修料10,000円(卒業生は5,000円)/1単位となっています。

本年度秋学期の募集案内は、7月中旬頃、大学のホームページに掲載します。詳しくは、学務部教務課 (Email d-kyomu@mmc.atomi.ac.jp または 03-3941-7420) までお問い合わせください。

保護者説明会のお知らせ

本学では高崎・新潟・宇都宮・文京の4会場において、在学生の保護者の方を対象とした「保護者説明会」を開催します。学部活動の概要・進路状況報告の他、個別相談ブースを設け、就職・奨学金・成績/履修・国際交流など各担当者が個別に相談に応じます。

ぜひお近くの会場へお越し下さい。

会場	期日
高崎会場	8月29日(土)
新潟会場	8月30日(日)
宇都宮会場	9月5日(土)
文京会場	10月17日(土)

心理教育相談所講習会のご案内【新座キャンパス】

跡見学園女子大学附属心理教育相談所主催による講習会を以下の日程で開催いたします。本学教員が、日常の「こころ」に関するテーマをとりあげて行います。どうぞお気軽にご参加下さい。

*参加費：無料 *開催場所：新座キャンパス

*申込は往復はがきにて(〒352-8501 新座市中野1-9-6)

*詳細はホームページ (<http://www.atomi.ac.jp/univ/shinri/training/>) をご覧ください。

実施日時	時間	テーマ	担当教員
7/18(土)	13:00~14:30	変化を起こす工夫 一小さなことから コツコツと一	松崎くみ子(教授)
9/5(土)	13:00~14:30	心のリラクゼーション	宮岡佳子(教授)
9/16(水)	10:40~12:10	睡眠と夢	中野敬子(教授)
9/29(火)	13:00~14:30	「うつ」からの社会復帰 一人と家族のとくみかた一	酒井佳永(准教授)
10/3(土)	13:00~14:30	不登校の理解と対応	野島一彦(教授)

● 編集後記 ●

満開の桜のもと行われた入学式から、2か月が経ちました。キャンパスを歩く新入生の姿は、新緑のキャンパスで眩しく輝いています。

跡見学園女子大学は、今年50周年の節目を迎えます。観光コミュニティ学部の開設、海外研修先の拡充、地域連携事業の充実など、新たな取組を続ける本学。学報では皆様に、本学の“今”をお伝えしていきます。